



## 2020年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月12日

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション  
 コード番号 2798 URL <http://www.ystable.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 (氏名) 金山 精三郎

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 池本 いつか

TEL 03-5412-0065

四半期報告書提出予定日 2019年7月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第1四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	3,489	1.3	18	29.2	43	22.2	38	58.9
2019年2月期第1四半期	3,534	1.3	26	68.9	55	43.1	24	64.2

(注) 包括利益 2020年2月期第1四半期 38百万円 (103.5%) 2019年2月期第1四半期 19百万円 (73.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第1四半期	14.63	
2019年2月期第1四半期	9.21	9.20

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第1四半期	4,901	514	9.9	182.03
2019年2月期	4,571	477	9.7	167.40

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 484百万円 2019年2月期 445百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		0.00		0.00	0.00
2020年2月期					
2020年2月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,798	3.1	18		80	53.9	46		17.40
通期	13,730	0.3	164		289		182		68.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期1Q	2,660,900 株	2019年2月期	2,660,900 株
期末自己株式数	2020年2月期1Q	145 株	2019年2月期	145 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期1Q	2,660,755 株	2019年2月期1Q	2,660,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復基調が続いており、各種政策等による雇用・所得環境の改善が続いている一方で、米中の通商問題の動向が世界経済に与える影響など、先行きの不透明感が拭えない状況が続いております。国内の個人消費については持ち直しの動きがあるものの、消費者の外出に対する低価格志向は依然として根強い状態です。

外食産業においては、原材料価格や物流コストの上昇、人手不足に伴う人材関連コストの上昇、消費志向やライフスタイルの変化などの影響から、引き続き厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、前会計年度に引き続き、既存店の販売強化、店舗管理体制の見直し、全社的なコストの見直しを推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、XEXグループ及びカジュアルレストラングループの既存店は概ね堅調に推移しましたが、全社的な人件費の増加傾向及び人材関連コスト等の増加により、売上高は3,489百万円(前年同期比1.3%減少)、営業利益は18百万円(同29.2%減少)、経常利益43百万円(同22.2%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は38百万円(同58.9%増加)となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次の通りです。

#### ①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループについては、インバウンド需要の増加や継続的な販売強化を推進するとともに、人材の登用を積極的に行った結果、既存店の売上は好調に推移し、前期に比べ収益性を大きく伸ばすことができました。また、2019年3月には、大規模改装により一時休業していた「The Kitchen Salvatore Cuomo NAGOYA」をリオープンしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は1,102百万円(前年同期比0.8%減少)、営業利益は74百万円(同49.5%増加)となりました。なお、店舗数は直営店8店舗となりました。

#### ②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについては、新たな出店はなく、既存店におけるサービスと料理の品質向上に注力したことにより、既存店の売上高及び営業利益が堅調に推移した一方で、フランチャイズ事業の売上が低調に推移しており、業績改善が課題となっています。

この結果、当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は2,386百万円(前年同期比1.4%減少)、営業利益は239百万円(同2.1%減少)となりました。なお、店舗数は直営店46店舗、FC店47店舗となりました。

#### ③その他

その他は、食料品等の卸売、小売事業、人材派遣事業及び不動産賃貸事業等により構成されております。人材派遣事業の立ち上げコストが増加したことから、当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は0百万円(前年同期比71.6%減少)、営業損失は16百万円(前年同期は営業損失5百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は2,117百万円となり、前連結会計年度末に比べ223百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加57百万円、売掛金の増加68百万円等によるものです。固定資産合計は2,783百万円となり、前連結会計年度末に比べ106百万円増加いたしました。これは主として、リース資産の増加106百万円、繰延税金資産の増加32百万円、長期貸付金の増加26百万円等によるものです。

この結果、総資産は4,901百万円となり、前連結会計年度末に比329百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は2,277百万円となり、前連結会計年度末に比べ141百万円増加いたしました。これは主として、買掛金の増加81百万円、未払法人税等の増加26百万円等によるものです。固定負債合計は2,109百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円の増加となりました。これは主として、長期借入金の増加38百万円、長期前受収益の増加7百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,386百万円となり、前連結会計年度末に比べ292百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は514百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円増加いたしました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上38百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は9.9%(前連結会計年度末は9.7%)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年4月19日の「2019年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	963,326	1,020,900
売掛金	589,970	658,056
原材料及び貯蔵品	193,161	195,736
その他	148,853	243,787
貸倒引当金	△554	△581
流動資産合計	1,894,757	2,117,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,510,395	1,493,809
工具、器具及び備品(純額)	128,449	128,451
リース資産(純額)	49,724	155,933
建設仮勘定	30,444	4,053
その他(純額)	37,327	37,178
有形固定資産合計	1,756,341	1,819,427
無形固定資産		
のれん	53,534	42,827
その他	34,003	31,540
無形固定資産合計	87,537	74,367
投資その他の資産		
投資有価証券	49,273	48,518
長期貸付金	78,605	105,153
敷金及び保証金	653,043	649,808
繰延税金資産	44,009	76,721
その他	9,726	10,906
貸倒引当金	△1,817	△1,695
投資その他の資産合計	832,841	889,411
固定資産合計	2,676,720	2,783,206
資産合計	4,571,478	4,901,106
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	548,333	629,445
1年内返済予定の長期借入金	530,296	531,372
未払金	661,282	667,835
未払法人税等	31,480	58,434
ポイント引当金	22,249	22,756
株主優待引当金	65,357	42,324
その他	276,192	324,934
流動負債合計	2,135,191	2,277,102
固定負債		
長期借入金	978,724	1,016,802
資産除去債務	831,591	832,984
長期前受収益	16,186	23,808
その他	132,342	236,047
固定負債合計	1,958,845	2,109,642
負債合計	4,094,036	4,386,745

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	830,375	830,375
資本剰余金	900,653	900,653
利益剰余金	△1,285,289	△1,246,352
自己株式	△362	△362
株主資本合計	445,376	484,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	24
その他の包括利益累計額合計	39	24
新株予約権	32,025	30,024
純資産合計	477,441	514,361
負債純資産合計	4,571,478	4,901,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
売上高	3,534,357	3,489,573
売上原価	2,880,736	2,824,636
売上総利益	653,621	664,936
販売費及び一般管理費	626,918	646,041
営業利益	26,702	18,895
営業外収益		
受取利息	51	394
協賛金収入	25,086	23,155
為替差益	-	28
その他	9,549	7,961
営業外収益合計	34,687	31,540
営業外費用		
支払利息	4,827	4,112
持分法による投資損失	-	733
その他	1,076	2,439
営業外費用合計	5,903	7,284
経常利益	55,487	43,151
特別利益		
新株予約権戻入益	-	2,001
特別利益合計	-	2,001
税金等調整前四半期純利益	55,487	45,152
法人税、住民税及び事業税	13,806	38,763
法人税等調整額	20,498	△32,547
法人税等合計	34,304	6,215
四半期純利益	21,182	38,937
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,315	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,497	38,937

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
四半期純利益	21,182	38,937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	△15
為替換算調整勘定	△2,038	-
その他の包括利益合計	△2,052	△15
四半期包括利益	19,129	38,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,494	38,921
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,364	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,111,199	2,420,263	3,531,463	2,894	3,534,357	—	3,534,357
セグメント間の内部売 上高又は振替高	26	1,565	1,592	113,238	114,831	△114,831	—
計	1,111,226	2,421,829	3,533,055	116,133	3,649,189	△114,831	3,534,357
セグメント利益 又は損失(△)	50,145	244,723	294,868	△5,076	289,792	△263,089	26,702

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△263,089千円には、セグメント間取引消去額1,016千円、各セグメントに配分していない全社費用△264,106千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,102,271	2,386,480	3,488,752	821	3,489,573	—	3,489,573
セグメント間の内部売 上高又は振替高	80	—	80	91,997	92,077	△92,077	—
計	1,102,351	2,386,480	3,488,832	92,818	3,581,651	△92,077	3,489,573
セグメント利益 又は損失(△)	74,942	239,671	314,613	△16,136	298,477	△279,581	18,895

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△279,581千円には、セグメント間取引消去額566千円、各セグメントに配分していない全社費用△280,148千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。